

「目で見てわかる 使いこなす測定工具」〈初版1刷〉
(ISBN:978-4-526-07293-2)

[正誤表]

本書内に誤記がありました。お詫びして訂正します。

頁	箇所	誤	正
P13	ココがポイント！内	P141	P143
P13	表1. 1 「全長と許容差」列の右側列(±5の単位)	mm	%
P15	15行目	図1. 10	図1. 11
P66	図2. 79 バルーン内	補完	保管
P75	図3. 8 バルーン内	1mm	0.1mm
P76	5行目	10.70mm	12.70mm
P76	7行目	10.20mm	12.20mm
P76	図3. 9 上の吹き出し	目盛22 $0.01\text{mm} \times 22 = 0.22\text{mm}$	目盛20 $0.01\text{mm} \times 20 = 0.20\text{mm}$
P76	図3. 10 バルーン内	10.20mm	12.20mm
P77	3行目	10.20mm	12.20mm
P77	5行目	10.70mm	12.70mm
P77	図3. 11左	測定値10.20mm	測定値12.20mm
P77	図3. 11右	測定値10.70mm	測定値12.70mm
P78	図3. 13 バルーン内 7行目	5.001mm	0.001mm
P79	図3. 14 バルーン内 7行目	5.002mm	0.002mm
P79	図3. 15 バルーン内 7行目	5.003mm	0.003mm
P84	11行目	【手順6】	【手順8】
P109	6行目	ラチェットストップおよびフリクションストップ	ラチェットストップ
P114	図3. 66 バルーン内	セレション	セレーション
P116	図のキャプション	図3. 68	図3. 69
P119	5行目	約520g	約510g
P120	本文17行目	左から右	右から左
P120	本文18行目	左から右	右から左
P126	本文6行目	スンピンドル	スピンドル
P147	本文全文	本文全文	※別途記載
P148	図5. 8カッコ内	数式に追記	①

※P147の全文は下記文章に差し替えとなります。

図5. 7に、測定工具の精度と測定時間の関係を示します。本図では、マイクロメータ、ノギス、スケールの3つの測定工具を例に記載しています。図から、マイクロメータは測定工具としての精度は高いのですが、測定時間は長く、一方、スケールは測定工具の精度は低いのですが、測定時間は短いことがわかります。そして、ノギスはマイクロメータとスケールの間位置することがわかります。このようにマイクロメータ、ノギス、スケールの順番に精度の高い測定ができる反面、測定時間は長くなります。これは測定工具の使いやすさや目盛の読みやすさに起因するもので、測定精度と測定時間は相反する関係にあることを理解することが大切です。測定を行う場合、測定精度を優先し、測定時間が長くなってもいけませんし、測定時間を優先し、測定精度が低くなってもいけません。測定工具の精度と測定時間の関係を考慮し、両者のバランスの取れた測定工具を選択することが重要です。